

## 南小たば風通信 2018

平成30年7月4日(水) 第11号

## 学校力向上に関する総合実践事業実践発表会 参加レポート

6月22日(金)、岩手大学教育学部附属小学校で開催された研究大会に参加してきました。

この学校は規模がかなり大きく、複式の学級を意図的に設置していたり国の支援を受けていたりしているようで、県内でも核となる先進的な取り組みをしている学校でした。そのようなこともあり、研究大会には岩手県内外の教職員や関係者、学生も多数参加していました。

学校の研究テーマは、

『創発の学び』を実現する教育課程の創造(第3次)

～各教科における「創発の学び」の充実と評価～

となっており、「創発」とは簡単にいうと、「個々の考えを合わせながら、集団として新たな考えや価値を作り出していくこと」ということだそうです。研究会では、全教科にわたって公開授業が行われていました。

## 4年にじ組 国語「組み立てを考えて書こう」



教材は「自分の考えをつたえるには」(光村図書 4年上)で、目標は「文章の段落構成や書き方の違いに気付き、感想や意見を伝え合うことができる。」でした。授業の流れは、課題を板書後5～6人に一人ずつ読ませてから全員で復唱。しっかりと課題が何かいうことを全員に意識させていることが伺えました。次に個人で考える時間、グループで考える時間を取り、全体で交流。発言が多いのは、意欲の高い児童が多いと思いました。

この時、みんなで文章を読むときがあったのですが、声が大きく、揃っているのには少し驚きました。日頃からの積み重ねがないとできないと感じました。まとめでは、A・B・Cそれぞれの違いを確認して、自分ならどの文章が良いと思うのか振り返りながら、3人が発表して終わりました。



## 5・6年かつら組（複式学級）国語 5年生「天気」私はこう予想する！ 6年生「鳥獣戯画」私はこう読む！



教材は、5年生「天気を予想する」（光村図書 5年）6年生『鳥獣戯画』を読む」（光村図書 6年）で、教室の正面にあるスライドする黒板を上下に分けて板書しながら行っていました。指導時は、黒板前



に半円になっている机に集まり、授業を受けていました。発言するときも声は小さめで、他学年の支障にならないようにしていました。児童は慣れていることもあり、自分たちで考えて進めることができていると感じました。まとめでは、5年生と6年生が交流する場面があり、発表も活発に出されていました。

### 分科会

午後の分科会では、4年生・5・6年生の授業それぞれ意見や質問が出され、授業の意図や反省点など活発に交流していました。

4年生では、自分考えを上手に伝えられないという実態から、「書いて」から伝えるようにしているというねらいや、3つの例文の違いを見つけることによって、それぞれの良さに気付かせたいねらいなど、授業者の思いを知ることができました。講評では、子ども達がよく考え、思考していたこと、アドバイスとして、どのような視点で問いを発するかで子どもの思考が変わること、伝えたいことの組み立てを考えること、形式段落を考えることも必要では、と話していました。

5・6年生では、直接指導と間接指導が明快でした。また、思考する場がたっぷりあり、それを楽しむ児童が多くいました。講評では、それぞれの筆者により近づき、一体となって考えても良かったのでは、間接指導の指導が少し物足りなかった（話し合いのできる児童だから）、などと意見が出ていました。

### 全体会・講演会

全体会は、学校長の挨拶などの後、国立教育政策研究所の総括研究官の山村光陽氏の講話があり、「創発の学び」を分析し、“創発力”をつけるには何が身につくとよいか、評価をどのようにみるか、成果や課題は何か、ということ話をされていました。先生によると、創発力は、主体性・創造性・協調性が必要で、評価するには、集団的評価・パフォーマンス的評価（個々がそれぞれ創造し思考することを評価すること）・ポートフォリオ的評価（作品やノートなど目に見えるものを評価すること）が大切であると伝えていました。



午後からの山村氏の講演では、「思考支援としての形成的評価」という演題で、附属小学校の提案と今回の講義の要点を話し、協同学習の効果や目的をしっかりと行うグループ学習の必要性などを指摘していました。また、思考支援のフィードバックということでは、「褒める」ことや「正答」をいうことより、「解決の手掛かり」や「到達目標」「説明」をす

ることの方がずっと効果があることを資料をもとに話されていました。話しの内容は難しかったり、現場の感覚からするとあまり関係していないかなあ、とも思ったりしましたが、各国の研究や文献などをもとに、教育の効果を示していました。



### その他

学校の方針なのか、校内がとてもきれいで整備されていました。掲示物は必要な物だけで、ほぼ、掲示物コーナーに貼られていました。児童の卒業記念作品なども、しっかりしたものや長く見られる物だけを残して校内に展示していました。また、花を廊下や各教室に飾っているのも心和むものでした。



また、各教室の掲示（学級目標・学習のコーナー・おたより類のコーナーなど）の位置などが統一されており、かつ見やすくすっきりしたものになっていました。黒板に何も無いというのも、初めてでした。

4年生の朝の会に全員で歌うのですが、その合唱がとてもレベルが高く驚きました。二部合唱や振り付けをして、まるで学習発表会？とも思うものでした。あとで学校を回ったときに、合唱の全国大会の常連校ということがわかって、納得したものでした。





